

川崎市議会議員(麻生区)

<http://www.tsukimoto.info>

# 月本たくや

## レポート【第9号】



月本たくやレポート編集部

〒215-0031 川崎市麻生区栗平 1-5-32 ベアーズハイム 101

TEL : 044-986-6010 FAX : 044-986-6011 Email : mail@tsukimoto.info

## 土地の有効活用から、新しいビジネスへ



平成24年度第2回定例会が開催され、6月27日に一般質問に立ちました。

今回の一般質問の2つの目的。

- ① 土地の有効活用を進めて、新しいビジネスモデルをつくり、シティセールスや市民参加へ発展させること。
- ② 川崎市の新しい魅力を発見し、発信していく機会にする。

この目的をもって、私は3点の質問をしました。

- ・市有施設を活用したシティセールスについて
- ・都市農業と市民参加型農園について
- ・映像のまちについて

### 市有施設を活用したシティセールスについて

市が所有する施設が、市内にはたくさんあります。市役所や区役所はもちろん、アートセンターや等々力競技場、昨年開館した藤子・F・不二雄ミュージアム、復旧工事中のミュージア川崎シンフォニーホールなどの施設から、生田緑地を始めとした公園緑地も市有施設です。

例えば、藤子・F・不二雄ミュージアムは、藤子・F・不二雄さんの漫画家としての生涯やドラえもんを始めとした代表作に関わる展示など、芸術の世界に浸ったり、子どもの世界に戻ったりというのが、本来の目的です。こういった施設の本来の目的を中心としたシティセールスに加え、本来の目的以外の部分での活用をどのように進めているかということが、この質問の中心テーマです。

市民・子ども局長より、シティセールスには、ロケ誘致を始め、旅行会社によるロケ地めぐりバスツアーが企画されたこと、メディアに対し積極的に売り込み、テレビやラジオで紹介されているという実績の説明がありました。また、ロケ誘致を進めているNPO法人による川崎らしい名物弁当の発掘を始め、企業や団体との連携を進めている成果があるとの答弁がありました。

これらの答弁を受けた上で、私は、お隣の横浜市で行っている「横濱ウェディング」という施策を参考に、市内



施設に結婚式誘致を進めることを提案しました。横浜市では、山下公園や日産スタジアムなど市内の公・民8つの施設を開放し、結婚式誘致を進めています。川崎市には、生田緑地ばら苑を始め、結婚式開催に期待できる施設がたくさんあります。市有施設を活用し、結婚式が誘致できれば、川崎市の魅力を市内外に発信できる機会が増えると同時に、施設使用料収入が増えることや披露宴会場や美容室など関連した経済効果が期待できるため、積極的な推進を要望しました。

### 都市農業と市民参加型農園について

#### 1、都市農業の課題

- ①市街化区域での税制の課題。
- ②収入や経費面での経済的課題。
- ③農業後継者不足と農家の高齢化の課題。



#### 2、提案：市民参加型農園を課題解決に活かさないか？

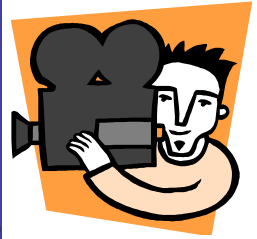
- ①農業ビジネスの一つとしてどう考えるか。
- ②市民ニーズが高い特性を活用すべき。
- ③耕作放棄地を減少させられないか。

#### 3、質問要旨(答弁者：経済労働局長)

- ◎質問：本市の農業政策における市民農園等の位置づけと、農業ビジネスのひとつとしての考えは？
- 答弁：市民が「農」に親しみ都市農業に理解を深める重要な施策である。収穫状況等に左右されず利用料収入が確保できる農業ビジネスのひとつとして意義があると考えている。
- ◎質問：市民農園等の潜在的需要は？
- 答弁：平成22年度は、市民農園の倍率は4.9倍、体験型農園は2.3倍と市民ニーズは高い。長期利用を踏まえ、市民ニーズの対応に努める。
- ◎質問：利用料等の設定方法と農家の経済的影響は？
- 答弁：税制面でのメリットがあり、利用料を農家が設定できる体験型農園や市民ファーム農園は、安定した農業経営に役立つ可能性がある。
- ◎質問：体験型農園の運営への支援は？
- 答弁：開設時の一部経費への補助金交付を行ったり、利用者への指導方法助言など、運営面での支援も行っており、今後も拡充を進めていきたい。

#### 市民農園等について

**市民農園**：市内7か所にあり、年間1区画6000円の利用料で市民が利用できる。**市民ファーム農園**：市民農園同様、利用者が栽培し、長期利用希望者を対象とし、農家が利用料を設定できる。**体験型農園**：農家の指導で栽培をする形式で、指導料・入園料・収穫物代金の合計を利用料に農家が設定できる。



#### 1、「映像のまちづくり」のポテンシャル

- ・市民がつくる「KAWASAKI しんゆり映画祭」開催
- ・日本初の映画単科大学「日本映画大学」開校
- ・毎日映画コンクール表彰式の開催地
- ・アートセンターやシネコンなど映像施設がある

#### 2、質問要旨(答弁者：市民・子ども局長)

- ◎質問：日本映画大学開校による効果は？
- 答弁：小学校での映像制作活動を始めた映像を通じた人材育成への協力を進め、今年度は、市立高校5校の連携実施の講座で、「映像リテラシーとコミュニケーション」をテーマとした講座など新たな取組を実施する。人材育成に加え、大学の特性を活かし、イメージアップや地域の賑わい創出などが期待される。
- ◎質問：アートセンターの人材育成と拠点機能は？
- 答弁：小学生の「シネマわくわくワークショップ」や高校生以上の「3分間ビデオ制作入門講座」などを進め、将来のアーティスト発掘・育成につなげたい。拠点機能としては、商業映画館で公開されにくい芸術的・文化的価値の高い作品を上映し、映像編集室や録音室など公共施設では珍しい設備を備え、様々な方に映画を楽しんで頂いている。
- ◎質問：毎日映画コンクール表彰式の活用と、新人登竜門コンペティションの可能性は？
- 答弁：表彰式を核として、様々な事業者が自身の企画で、関連イベントが実施され、地域の活性化一層の盛り上がりにつながっている。市主催の新たなコンペティションは難しいが、市民・映像関係者に、より愛着を持っていただけるように努めたい。

### 月本たくやプロフィール

昭和53年 大阪府豊中市生まれ。神奈川大学法学部法律学科卒業後、建築設備メーカーに就職。  
 川崎市長 阿部孝夫 政務秘書、衆議院議員 山内康一 公設第二秘書(麻生区・国会担当)、みんなの党本部事務局(兼任)を経て、平成23年 川崎市議会議員初当選。  
 現在 川崎市議会議員(麻生区選出) みんなの党川崎市議会議員団 副団長 みんなの党川崎市議会第1支部長  
 NPO 法人防犯ネットワーク麻生区支部長 麻生区白鳥在住 家族：妻 血液型：A型

### 月本たくや事務所

麻生区栗平 1-5-32 ベアーズハイム 101号  
 TEL 044(986)6010 FAX 044(986)6011

月本たくや

検索

